

叙勲の受章

おめでとうございます

高齡者叙勲

高齡者叙勲が内閣府から発表されました。受章の榮譽を受けられた方を紹介します。

瑞宝双光章

大木 秋良さん

元等間市立稲田中学校校長
(88歳・池亀地区)



大木さんは昭和22年7月に、北那珂村立北那珂中学校に助教諭として赴任。以来、63年3月に等間市立稲田中学

校校長として退職されるまで、約41年にわたり教育の発展振興に貢献されました。

この間、岩瀬町体育指導員や県西教育事務所指導主事として活躍。さらに、第29回国体茨城大会の運営に携わるなど県内のスポーツ振興に尽力されました。

同氏は、「皆様方の心温かいご指導とご支援のもと、学校教育に努力した甲斐あって、校長に就任できました。この度の受章は、誠に榮譽なことで喜びに堪えません」と受章の喜びを話していました。

(仮称)桃山小中一貫教育校の

校舎設計ワークショップ開催

11月26日に真壁伝承館で、桃山中学校区統合準備委員会主催の小中一貫校校舎設計ワークショップを開催しました。

このワークショップは、現在、桃山中学校敷地内に建設を計画している小中一貫校の校舎について、保護者や地域、議会、学校の代表者が意見を出し合い、より使いやすい校舎とするために開催されたものです。

当日は、代表者29人が参加し、設計事務所スタッフ4人と話し合いながら、部屋の配置やプール、体育館、グラウンドについてなど、様々な意見を交わしました。

設計者選定の際に審査委員



設計者と意見を交わす参加者



ワークショップに参加し、使いやすい校舎について意見を交わした皆さん

長を務めた筑波大学の貝島桃代先生も参加し、「皆さんの議論の熱さを実感しました。関わっている皆さんが、具体的に深く議論できているところが、この小中一貫校の一つの特徴として現れてくるのではないかと期待されます」と講評しました。

今後は、本ワークショップで得た意見を小中一貫校の校舎設計に反映させ、使いやすい校舎の建設を進めていきます。

問合先／学校教育課(☎581-5111・7513111、内線3222)

寄付

寄贈

社会福祉法人上の原学園(小松寄忍理事長)から、うまかつ祭で集めた災害対策義援金6万8,605円の寄付がありました。



義援金を届けた社会福祉法人上の原学園の皆さんと大塚市長(写真中央左)

チャリティーゴルフ大会を開催した十日会(櫻井信文会長)から、市の教育振興のために、3万円の寄付がありました。



寄付金を手渡した十日会の皆さんと梅井教育長(写真中央左)

寄付

寄贈